

第5回学校運営協議会・記録概要

- 1 出席委員 大野ひさ子 吉田四郎 小林綾子 藤井さゆり 山中泰成
杉本五月 藤田恭江 神原由明(校長)
- 2 その他 教育指導課(青山・福村) CS推進コーディネーター(杉谷直俊)
生徒指導担当(山田)
- 3 日時・会場 令和4年12月16日(金)18時00分～19時00分
大木中学校・多目的室
- 4 あいさつ
 - (1) 学校運営協議会委員長
 - (2) 校長
 - ・長期欠席・・・11月末時点で19人
 - ・校内適応指導教室を活用している生徒・・・17人
 - (3) 生徒指導担当
 - ・1月から3月まで改定した校則を試行する。(委員)
 - ◆長期欠席の生徒について、保護者に対して学校や地域がどのような対応をしているか知りたい。地域には民生委員や主任児童委員がいる。第3者の手を借りてでも何らかの手を打てないものか。
- 5 協議事項
 - (1) 部活動の地域移行について
 - ① 国や県等の状況について(教育指導課)
 - ・別紙資料「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言(スポーツ庁)」を基に説明。
 - ・(課題)生徒数の減少などから持続可能性の面で厳しさが増している。競技経験のない教師が指導をせざるを得ない。休日を含めた運動部活動の指導を求められ、教師の大きな業務負担となっている。地域では、スポーツ団体と指導者等との連携・協働が十分でない。
 - ・(方向性)休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とする。令和5年度から開始し、令和7年度末を目途とする。
 - ② 大木中学校の部活動の状況(校長)
 - ・大木中学校の10年推計では生徒数の減少が続く。
 - ・現在の部活動数は、教員定数から考えて厳しい状況である。

- ・部活動数（16）を維持するためには、地域の方に部活動を支援いただく必要がある。

③ 委員（意見等）

- ◆昨年度から地域移行の話を聞いてきてが、県等の動きとしては、現時点でも進んでいないと感じる。
- ◆スポーツの意義は、中高校生の時代にスポーツに携わることで体をつくっていくことである。スポーツに携わらないと年齢を重ねたときに体力がついていないことになる。60代以上の方の意義は健康維持がある。
- ◆中学校の専門的な指導は難しい。
- ◆大木中は鈴鹿市の端にある。地域としては鈴鹿市でまとめるのか。長太なので、若松より楠の方が近い。鈴鹿市でというと、四日市との接点がない。地域を考える中で、鈴鹿市の周辺地域のことを考えて、近隣市とのことも考えてほしい。（→ まずは学校の部活動をどうするのかとなっているが、将来的には検討されると思う。）
- ◆部活動が地域移行された時に、グラウンドの使用、場所の確保はどうなるのか。（→ 一番使いやすいのは学校施設（備品等も揃っている）である。市の施設もあり得る。）
- ◆指導者がボランティアでできるのか。報酬はどうするのか。
- ◆部活動を3年間続けることで内申が評価されると言われているが、このところは今後無くなっていくのか。（→ スポーツ庁の提言の中に、入試については、学力検査、面接、調査書等で合否を判定する入試と、スポーツや文化の特質的な能力をもつ生徒を選抜する、いわゆる推薦入試に分かれる。平成31年中教審答申で、一部の保護者による部活動への過度の期待等の認識を変えるため、入試における部活動の評価の在り方を検討すべきとある、と示されている。今後、どのように評価するのかを検討する必要があるともある。
- ◆やる事が決まっていて、保護者が全面的に支援できる場合は良いが、保護者が仕事等の事情により支援が難しい場合は、地域移行後、部活動に入らない子どもが増えるのではないか。

（2）新校舎図書館の地域利用について

（委員長）

- ◆図書館の運用は、はじめから大きなものとするのではなく、徐々に進めることが大切であると考える。
- ◆新校舎完成後に施設の確認をして、検討事項について考えていきたい。

6 その他

(1) 学校関係者評価の流れについて

12月16日(金)・・・学校関係者評価表の説明

1月中旬・・・学校から成果と課題、今後の改善点を記入した学校関係者評価表を配付

2月17日(金)・・・委員意見を記入した学校関係者評価表を持参し、協議する。

3月下旬・・・総括をした学校関係者評価表を配布

(2) コミュニティ・スクール意識調査(1月27日・締め切り)

(3) 第6回学校運営協議会(2月17日・金・18時00分～)

7 CS推進コーディネーター

- ・中学校の部活動の課題について、また、学校のスポーツがどのようになって行くのか、これからの見通しを聞かせていただいた。大変勉強になった。
- ・部活動は、これまで長く学校が背負ってきた。これを令和7年までにと簡単に進めることは難しいと感じる。地域移行の方向性は理解できる。部活動を地域へとなれば、ますます学校運営協議会の重要性が増してくる。